

事務事業名	教育相談充実事業		担当	教育委員会 学校教育課 指導係	
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～	施策名	2	心の教育と健やかな体づくり
成果指標	名称		単位	6 年度実績	
	全児童生徒数に対する不登校児童生徒の割合		%	4.65	
	スクールソーシャルワーカーが相談を受け、改善の見られた児童生徒数		人	43	
	心理相談員による教育相談件数		件	618	
事業概要	学校支援相談員、心理相談員及びスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒指導及び教育相談の充実を図る。 平成15年度まで、県の委託事業、平成16年度から市の単独事業として実施している学校支援相談員の配置（平成31年度までスクールカウンセラーの配置のない中学校2校、訪問回数の少ない小学校4校の計6校に5名配置、スクールカウンセラーが全中学校区に配置されたことにより令和3年度より小学校3校に5名配置） 平成20年度から臨床心理士の資格を持つ心理相談員の1名配置、令和元年度からは2名配置 令和元年度からスクールソーシャルワーカーの1名配置 平成6年度真岡市教育支援センターもおかライブリー教室二宮教室を設置し、何らかの理由で学校に行けない、学校に行かない子どもに対して社会的な自立支援に取り組んでいる。				
6 年度実績・成果・課題	家庭内のトラブルや不登校の児童生徒に対してスクールソーシャルワーカーが適切に対応しているため、問題を大きくせずに対処できている。就学児の検査において適切に検査をし、学校事故においては、生徒の心情に寄り添った相談を行っている。もおかライブリー教室二宮教室の通室者が20名となった。中学生の不登校数が増加している。				
今後の方向性と具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☒ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 心理相談員やスクールソーシャルワーカーは、対象となる児童生徒等に対して適切に対応している。 もおかライブリー教室、スクールソーシャルワーカー、フリースクール等のどこにもつながっていない不登校児童数を減らすために、関係者と連携を続けていく。また、魅力ある学校づくりを推進し、不登校の未然防止につなげる。				